令 和 3 年 度

各診療科別
および各部門別の臨床統計

1．消化器内科
2．糖尿病・内分泌内科
3．外科
4．整形外科
5．形成外科
6．心臓血管外科
7．眼科
8．泌尿器科
9．放射線科
10．麻酔科
11．健康診断部
12．歯科口腔外科
13．中央リハビリテーション部
14．薬剤部
15．中央検査部
16．看護部

1．消 化 器 内 科

臨床統計

表１　疾患別入院患者数

消化管疾患		563
食道癌	4	
食道静脈瘤破裂	0	
胃ポリープ・腺腫	2	
胃癌	44	
胃十二指腸潰瘍	21	
急性胃腸炎	8	
結腸癌	78	
直腸癌	16	
直腸腺腫	0	
大腸・ポリープ・腺腫	253	
盲腸癌	7	
炎症性腸疾患	11	
腸閉塞症	9	
大腸憩室炎・憩室出血	18	
虚血性腸炎	21	
その他	71	
肝胆膵疾患		231
肝炎・肝障害	7	
肝硬変	5	
肝癌	13	
胆石・胆道感染症	51	
胆道癌	21	
胆のう癌	6	
膵炎	13	
膵癌	65	
その他	50	
血液疾患		82
その他の疾患		43
総計		919

表２　消化器検査件数

上部消化管内視鏡検査	1,486 件
大腸内視鏡検査	1,299 件
胃Ｘ線検査	35 件
大腸注腸造影検査	53 件
内視鏡的逆行性膵胆管造影検査	85 件
腹部超音波検査	1,700 件

2．糖尿病・内分泌内科

入院患者内訳

糖尿病	106	
１型DM		6
２型DM		100
内分泌疾患	19	
ＰＡ		6
甲状腺疾患		6
電解質異常		5
その他		2
感染症	79	
肺炎		48
尿路感染		15
その他の部位		16
脳梗塞	33	
脳梗塞		33
脳出血		0
睡眠時無呼吸症候群	90	
眩暈症	13	
うっ血性心不全	14	
その他	35	
合計	389	

外来患者数	25,157人
新外来患者数	3,915人
時間外救急患者数	616人
入院患者延数	5,781人

3．外　　科

手術症例

分　類	臓　器	術　式	症 例 数	前年との比較
消化器	胃	胃全摘術	8	0
		幽門側胃切除術	13	7
		胃部分切除術	4	1
	胆嚢（胆管）	腹腔鏡下胆摘術	26	4
		開腹胆摘術	16	－2
	膵臓	膵頭十二指腸切除術	6	5
		膵全摘術	1	0
		膵体尾部切除術	1	－1
	肝臓	肝部分切除術	1	1
	小腸	小腸切除術	7	1
		癒着剥離術	9	4
	大腸	結腸切除術	39	－11
		虫垂切除術	14	－4
		直腸切除術	10	－4
		直腸切断術	1	－1
		痔核手術	13	－1
		痔瘻手術	17	8
	その他		22	－12
	小計		208	－5
胸部	肺	肺葉切除術	14	7
		肺区域切除術	1	0
		肺部分切除術	8	0
	その他		2	0
	小計		25	7
乳腺、甲状腺	乳腺	乳房切除術	28	12
		乳房温存手術	5	0
	甲状腺	甲状腺全摘術	1	－2
		甲状腺半切除術	6	0
	副甲状腺	副甲状腺切除術	3	－1
	その他		3	－3
	小計		46	6
ヘルニア	鼠径	鼠径ヘルニア手術	41	－8
	大腿	大腿ヘルニア手術	2	－2
	小計		43	－10
合計			322	6

4．整　形　外　科

手術件数

領　　域	細　　目	合　　計	合計Ｒ２年度(前回)
脊椎	頸椎	58	12
	胸椎	2	5
	腰椎	71	96
	その他	0	0
上肢・手	関節鏡	18	4
	人工関節	3	1
	その他	81	84
下肢	関節鏡	1	2
	人工関節	31	28
	靭帯再建（関節鏡あり）	0	0
	（関節鏡なし）	0	0
	その他	70	57
外傷	脊椎	0	0
	上肢再接着	0	0
	上肢骨接合術	79	55
	上肢その他	15	2
	下肢再接着	0	0
	下肢骨接合術	78	75
	下肢その他	27	13
	その他	1	2
リウマチ	脊椎	0	0
	上肢人工関節	0	0
	上肢その他	0	0
	下肢人工関節	1	2
	下肢その他	0	0
	その他	0	0
スポーツ	上肢関節鏡	4	1
	上肢靭帯再建（関節鏡あり）	0	2
	（関節鏡なし）	2	20
	上肢その他	8	12
	下肢関節鏡	112	111
	下肢靭帯再建（関節鏡あり）	53	70
	（関節鏡なし）	5	0
	下肢その他	28	29
	その他	2	1
小児	脊椎	0	0
	上肢	1	11
	下肢	8	10
	その他	0	0
腫瘍	良性骨腫瘍	1	0
	良性軟部腫瘍	1	3
	良悪性中間骨腫瘍	0	0
	良悪性中間軟部腫瘍	0	1
	悪性骨腫瘍	0	0
	悪性軟部腫瘍	0	0
	その他	16	25
	合　　計	777	734

	全麻	457	394

5．形　成　外　科

臨床統計

入院手術
　全身麻酔 18件　局所麻酔 2件

表１　入院手術分類

手　　術	件数
新鮮熱傷	2
顔面骨骨折及び顔面軟部組織損傷	0
唇裂、口蓋裂	0
手、足の先天異常、外傷	0
その他の先天異常	3
母斑、血管腫、良性腫瘍	12
悪性腫瘍及びそれに関連する再建	3
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	0
褥瘡、難治性潰瘍	0
美容外科	0
その他	0
計	20

表２　外来手術分類

手　　術	件数
新鮮熱傷	0
顔面骨骨折及び顔面軟部組織損傷	0
唇裂、口蓋裂	0
手、足の先天異常、外傷	3
その他の先天異常	3
母斑、血管腫、良性腫瘍	330
悪性腫瘍及びそれに関連する再建	12
瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	4
褥瘡、難治性潰瘍	0
美容外科	0
その他	2
計	354

６．心臓血管外科

手術件数

大動脈手術	２例
ステントグラフト内挿術	２例
末梢血管手術	29例
下肢バイパス術	22例
ＥＶＴ	６例
パッチ形成	１例
静脈手術	24例
レーザー焼灼術	22例
瘤切除	２例
その他	10例
ジェネレーター交換	９例
テンポラリーペースメーカー挿入	１例

7．眼　　科

表１　令和３年度・月別外来患者数

	新患数	再来数	計
４月	71	458	529
５月	53	424	477
６月	76	512	588
７月	71	461	532
８月	48	447	495
９月	60	454	514
10月	50	421	471
11月	70	427	497
12月	46	495	541
１月	48	378	426
２月	44	412	456
３月	57	466	523
計	694	5,355	6,049

表２　令和３年度・月別入院患者数

	新入院	退院数	延患者数	実日数
４月	6	6	77	30
５月	6	4	51	31
６月	9	9	102	30
７月	5	7	66	31
８月	4	4	31	31
９月	5	5	60	30
10月	6	6	79	31
11月	8	8	92	30
12月	5	5	68	31
１月	5	3	40	31
２月	6	6	69	28
３月	4	6	75	31
計	69	69	810	365

表３　眼科・手術状況（令和３年度４月～３月）（入院）

手　術　名　称	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）												1	1
結膜腫瘍摘出術											1		1
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）(その他のもの)	10	6	13	9	4	7	10	12	9	5	9	10	104
毛様体冷凍凝固術				1									1
網膜光凝固術（その他特殊なもの(一連につき)）				2	2							2	6
											入院計		113

表４　眼科・手術状況（令和３年度４月～３月）（外来）

手　術　名　称	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	計
マイボーム腺切開術										1			1
角膜・強膜異物除去術									1				1
顕微鏡下角膜抜糸術	1	1	2	2	3	4	2	2	2	1	2	2	24
後発白内障手術		2		1	2	1					1	6	13
麦粒腫切開術						1							1
網膜光凝固術（その他特殊なもの(一連につき)）	1		2	1	1				2			3	10
網膜光凝固術（通常のもの(一連につき)）	1		2	1			3				1		8
水晶体再建術（眼内レンズを挿入する場合）(その他のもの)			1										1
結膜肉芽腫摘除術											1		1
											外来計		60

8．泌尿器科

臨床統計

1．外来診療

月別外来患者数			
	新患数	再来数	計
4月	122	1,308	1,430
5月	80	1,317	1,397
6月	94	1,272	1,366
7月	96	1,291	1,387
8月	92	1,313	1,405
9月	81	1,239	1,320
10月	78	1,213	1,291
11月	79	1,281	1,360
12月	93	1,255	1,348
1月	73	1,189	1,262
2月	80	1,052	1,132
3月	101	1,223	1,324
計	1,069	14,953	16,022
月平均	89.1	1,246.1	1,335.2

2．入院診療

※転科を含む

月別入院患者数			
	新入院	退院	延患者数
4月	74	80	759
5月	68	67	598
6月	87	77	780
7月	83	85	815
8月	80	72	879
9月	75	86	796
10月	76	85	763
11月	72	60	620
12月	80	94	836
1月	72	64	788
2月	55	59	618
3月	62	69	602
計	884	898	8,854
月平均	73.7	74.8	737.8

3．透析診療

月別透析件数	
	透析件数
4月	454
5月	429
6月	433
7月	448
8月	452
9月	403
10月	327
11月	370
12月	392
1月	364
2月	291
3月	336
計	4,699
月平均	391.6

4．手術・生検件数

手術名	
腹腔鏡下副腎摘除術	1
腎摘除術	
(小切開)	11
(小切開部分切除)	8
(開腹)	1
腎尿管全摘除術	
(小切開)	9
(開腹)	1
腎瘻造設術(PNS)	3
経尿道的腎尿管砕石(TUL)	71
経尿道的(経皮的)尿管拡張術	12
膀胱全摘除術(代用膀胱)	5
経尿道的膀胱腫瘍切除(TURBT)	87
経尿道的膀胱砕石術(TUVL)	11
経尿道的電気凝固術(TUEC)	1
膀胱水圧拡張術	2
前立腺全摘除術	39
経尿道的前立腺切除(TURP)	11
精巣悪性腫瘍手術	3
陰嚢水腫手術	16
停留精巣手術	3
包茎手術	2
尿道バルーン拡張・ステント留置術	13
内シャント造設術	71
経皮的血管形成術(PTA)	123
その他内シャント関連手術	5
腹膜透析カテーテル留置術	7
その他腹膜透析関連手術	3
カフ付き透析用カテーテル留置	3
その他手術	
(腎盂形成術)	1
(尿管膀胱新吻合術)	1
(精索捻転手術)	4
(尿道異物摘除術)	2
(外尿道口腫瘍切除術)	2
(皮膚腫瘍切除術)	1
手術合計	533
前立腺生検	176
腎生検	6

9．放　射　線　科

表１　放射線科入院（がん）患者内訳

原疾患＼年度	30年	令和元年	令和２年	令和３年
頭頸部腫瘍	0	0	8	8
肺・縦隔腫瘍	2	5	15	5
乳腺疾患	2	0	2	5
消化器系疾患	44	58	66	64
泌尿・生殖器疾患	12	15	94	101
骨・軟部腫瘍	1	2	2	2
閉塞性動脈疾患	1	2	0	0
動脈瘤・その他	14	9	1	9
計	76	91	188	194

表２　血管造影＆IVR内訳
血管造影件数228件、IVR198件　（重複例あり）

動脈塞栓術（TAE）	22件	IVHリザーバー	77件
原発性肝癌	11	IVCフィルター	1件
転移性肝癌	0	動注化学療法	13件
腎/泌尿器	1	膀胱癌（BOAI）	9
消化管出血	0	胆道内瘻術	12件
胃食道静脈瘤	1	（胆管ステント）	10
肺・気管支出血	0	血管拡張術（PTA）	0件
脾機能亢進症	2	（動脈ステント）	0
内臓動脈瘤	2	頸動脈ステント	0件
精索静脈瘤	4	静脈ステント	0件
子宮筋腫	1	血管内異物除去	1件
動注リザーバー	14件	腹腔・静脈短絡造設	4件
原発性肝癌	12	副腎静脈採血	5件
転移性肝癌	2	肝臓金属マーキング	28件
血流変更	12	その他	21件
		IVH留置、ポート抜去、生検、ドレナージ	

表３　放射線治療患者調べ

新患数	226
総治療患者数	257
照射部位数	315

原発巣	新患	再来	人数
脳・脊髄	1		1
頭頸部	4	1	5
食道	4	1	5
肺・気管・縦隔	28	9	37
乳腺	21	8	29
肝・胆・膵	27	2	29
胃・小腸・結腸・直腸	15	2	17
婦人科	1		1
泌尿器系	117	8	125
造血器リンパ系	5		5
皮膚・骨・軟部	1		1
その他（悪性）	1		1
良性	1		1
小計	226	31	257

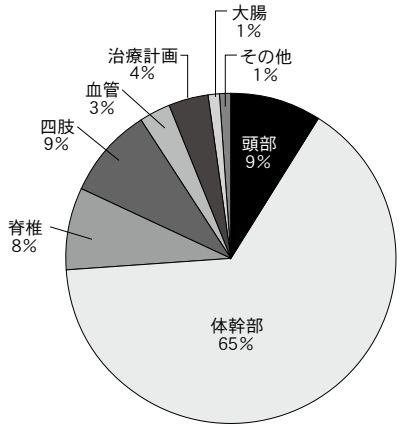
脳転移	5	1	6
骨転移	24	15	39

定位照射	43	10	53
強度変調	127	9	136

表４　放射線部門業務統計

部門別	種別	項目	人数
診断	一般撮影	撮影	22,437
		（移動型撮影／院内）	2,210
		透視	3,441
	特殊撮影	乳房	301
		パノラマ	645
		DEXA	1,118
		血管撮影	183
		IVR	217
		CT	8,501
		MRI	4,873
		核医学検査	673
治療		ライナック	7,183

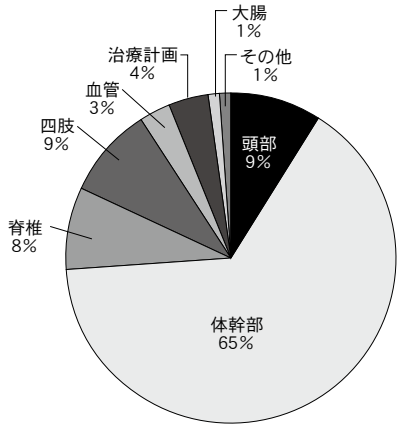
表５　ＣＴ検査内訳



依頼科別CT検査割合

依　頼　科	件　数	割　合
整形外科	2090	24.6%
泌尿器科	1213	14.3%
消化器内科	1198	14.1%
放射線科	1152	13.6%
外科	981	11.5%
糖尿・内分内科	773	9.1%
心臓血管外科	317	3.7%
健康診断部	246	2.9%
呼吸器科	181	2.1%
その他	350	4.1%
合　　計	8501	

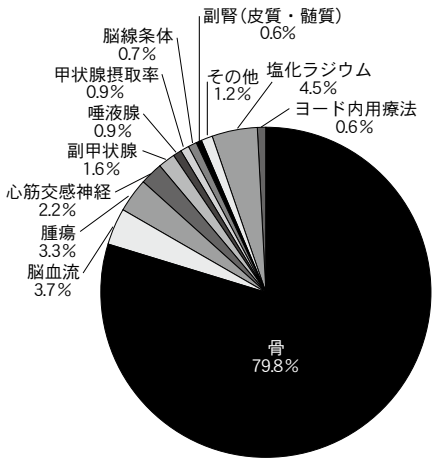
表６　ＭＲＩ検査内訳



依頼科別ＭＲＩ検査割合

依　頼　科	件　数	割　合
整形外科	2585	53.1%
放射線科	931	19.1%
消化器内科	460	9.4%
泌尿器科	167	3.4%
糖尿・内分内科	150	3.1%
健康診断部	146	3.0%
外科	130	2.7%
神経内科	91	1.9%
脳神経外科	90	1.9%
その他	123	2.5%
合　　計	4873	

表７　核医学検査内訳



	検　査　名	件　数	割　合
診断	骨	537	79.8%
	脳血流	25	3.7%
	腫瘍	22	3.3%
	心筋交感神経	15	2.2%
	副甲状腺	11	1.6%
	唾液腺	6	0.9%
	甲状腺摂取率	6	0.9%
	脳線条体	5	0.7%
	副腎(皮質・髄質)	4	0.6%
	その他	8	1.2%
治療	塩化ラジウム	30	4.5%
	ヨード内用療法	4	0.6%
合　　計		673	

10. 麻酔科

全身麻酔管理

手術件数：麻酔科が直接管理した症例数は873例で、前年より51例少なかった。各科ごとの件数と昨年との比較を表に示す。

表１　麻酔科が管理した各科別手術件数

科	外　科	心臓外科	整形外科	泌尿器科	形成外科	口腔外科	眼科	計
2021年件数	288	19	422	83	17	44	0	873
前年件数	300	39	420	94	24	47	0	924
差	－12	－20	＋2	－11	－7	－3	0	－51

2021年（令和３年）

麻酔科管理症例の内訳：男女比は男性506人（58.0％）、女性367人（42.0％）で男性の方が139人多かった。昨年の男女比（59.4％：40.6％）に比べ、女性の割合が増加した。65歳以上の高齢者は454人（52.0％）で2020年の447人（48.4％）に比べ人数、割合ともに増加した。高齢者のうち90歳以上の人数は13人（1.5％）で、これも増加傾向にある。最高齢は97歳であった。

麻酔および手術時間：全身麻酔の平均時間は２時間52分（2020年は２時間51分）、手術の平均時間は２時間04分（同２時間01分）で2020年に比べ手術時間、麻酔時間ともにあまり大きな変化はなかった。最長手術時間は11時間35分で麻酔時間は12時間35分だった。

術中出血及び自己血輸血：手術中の出血量が1000mℓを超えた症例は21例で最も出血したものは7400mℓだった。手術室内で行われた自己血輸血は12例で、すべて貯血式で泌尿器科の手術で行われた。回収式は行われなかった。

11. 健 康 診 断 部

臨床統計

年　度	令和３年度
外来ドック	269
1泊2日ドック	59

外来ドック	１日ドック	201	269
	脳ドック	59	
	肺ドック	3	
	骨ドック	3	
	動脈硬化ドック	3	
	女性ドック	0	

外来健診・ドック等利用数

一般健康診断	定期・雇入れ	785	2,162
	結核	1	
	給食	120	
	被爆者	0	
	その他	8	
	予防接種	1248	
特殊健康診断	塵肺	12	355
	有機溶剤	6	
	鉛	1	
	電離放射線	1	
	高気圧	0	
	振動障害	1	
	騒音	0	
	石綿	299	
	有害物質	22	
	VDT	0	
	その他	13	

ドック利用者数比較

項　　目		４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月	合計
ドック	１日	14	8	16	20	20	21	23	9	21	11	14	24	201
	１泊２日	8	10	10	6	3	1	7	1	3	4	4	2	59
合　　計		22	18	26	26	23	22	30	10	24	15	18	26	260

12. 歯科口腔外科

臨床統計

2021年度４月～３月の一年間における入院患者数は63（男性27名、女性36名）平均年齢68.2歳、平均在院日数は21.2日であった（表１）。

入院症例における疾患別患者数ならびに疾患別入院患者数の年次推移を表２・図１に示す。今年度も昨年と同程度の入院患者数であり、コロナ禍以前の年度に比較すると約２/３程度まで減少している。これはコロナ禍における紹介数の減少が最たる要因ではあるが、患者自身の受診控えによる高齢進行がん患者が増加しており、積極的治療の適応なく緩和ケアを選択せざるを得なかったのも一つの要因と考える。

手術内訳（表３）では、良性腫瘍切除術・顎関節手術・悪性腫瘍手術の順で多く例年通りであったが、顎骨部分切除術が顎顔面骨折手術と同数まで増加しているのが今年度の特徴である。これは多数の科がビスフォスホネート・抗RANKL抗体を使用する機会が増えたことによるMRONJ（薬剤関連顎骨壊死）の増加に起因すると思われる。各疾患の細分類を図２～８に示す。ご参照頂きたい。

外来小手術の内訳を表４に示す。顎関節パンピング・顎関節洗浄療法・顎関節鏡視検査を含めると、埋伏智歯抜歯術を上回る症例数であり、全体数は減少したもののその比率は例年通りであった。

周術期口腔機能管理（表５）に関しては、心臓血管外科は診療域変更に伴い減少し、外科のみとなった。

当科は口腔顎顔面が診療域であることからコロナ禍の影響を受けやすい。TVでコロナ患者増加報道があると紹介数は激減する。昨今のコロナ患者数高止まりの影響で紹介数の回復は不透明である。一方、悪性腫瘍・顎関節症・MRONJは明らかに増加傾向にあり、今後も時代ニーズ・地域ニーズに答えられる口腔外科診療を中心としたサービス強化が必要であると推察された。

表１　入院患者数

人数（性別）	63名（男性27名、女性36名）
平 均 年 齢	68.2歳
平均在院日数	21.2日

表２　疾患別入院患者数

疾患名	患者数	比率(%)
腫瘍性疾患	13	21%
嚢胞性疾患	14	22%
外傷性疾患	4	6%
炎症性疾患	11	17%
唾液性疾患	2	3%
顎関節疾患	11	17%
歯および歯周組織疾患	4	6%
その他	4	6%
合計	63	100%

表３　手術内訳（外来手術含まず）

手術名	件数	比率(%)
悪性腫瘍手術	7	9%
腫瘍切除術	4	
頸部郭清術（片側）	1	
再建術	2	
下顎骨部分切除術	5	7%
良性腫瘍切除術（顎骨内嚢胞含む）	19	26%
顎関節鏡視下手術	10	14%
顎・顔面骨折手術	5	7%
顎骨内異物除去術（抜釘を含む）	2	3%
上顎洞根治術	6	8%
唾液腺腫瘍摘出術（唾石症含む）	2	3%
リンパ節摘出術	2	3%
カテーテル抜去術	1	1%
抜歯術	11	15%
歯根嚢胞摘出術	1	1%
歯根端切除術	3	4%
合計	74	100%

表４　外来小手術

手術名	件数	比率(%)
顎関節症パンピング＋上関節腔洗浄療法	135	32.4%
顎関節鏡視検査	8	1.9%
埋伏智歯抜歯術	123	29.5%
抜歯・止血術（出血傾向患者）	96	23.0%
顎骨腫瘍摘出	2	0.5%
組織生検術	22	5.3%
軟組織腫瘍摘出術	9	2.2%
小帯形成術	3	0.7%
口腔内外裂傷縫合術	5	1.2%
瘻孔閉鎖術	4	1.0%
顎関節脱臼非観血的整復術	1	0.2%
歯根端切除術	3	0.7%
歯の移植術	1	0.2%
デブリードマン＋縫合	2	0.5%
腐骨除去	3	0.7%
合計	417	100.0%

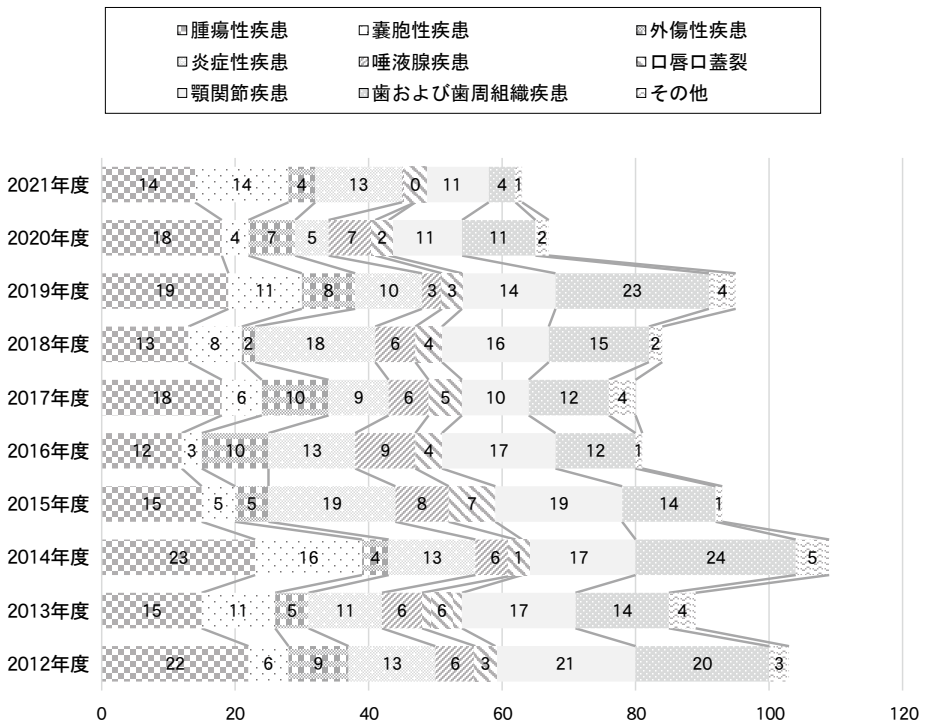


図１　疾患別入院患者数の年次推移

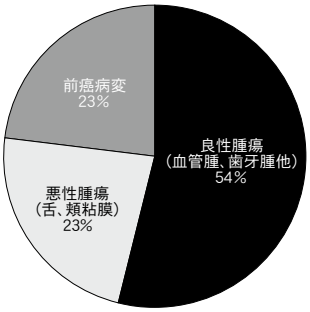


図２　腫瘍性疾患

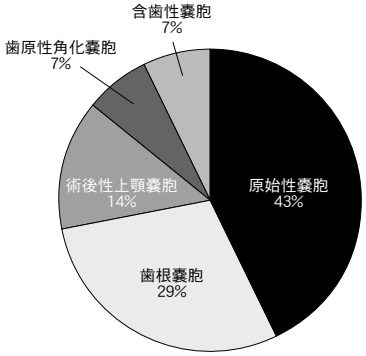


図３　嚢胞性疾患

図４　外傷性疾患

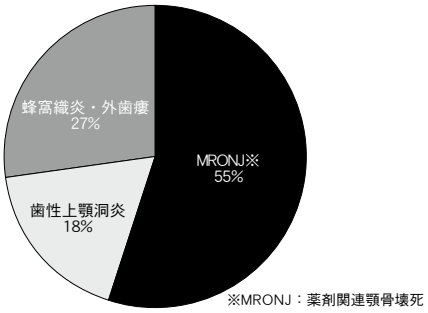


図５　炎症性疾患

図６　唾液腺疾患

図７　顎関節疾患

表５　周術期口腔機能管理患者数
（2021年４月～2022年３月）

周術期口腔機能管理患者数	111名
（内訳）外科紹介患者	110名
放射線治療科	1名